

地方CR活動

北九州協会

「日本ふうせんバレーボール協会」へ活動資金を寄付しました

北九州協会（会長：青野 真哉 住友生命 北九州支社長）では、今年度加盟する会員会社の3,189名の職員・営業職員から寄せられた募金の一部から、障がい者支援団体である「日本ふうせんバレーボール協会」へ活動資金として10万円を寄付しました。

11月2日に北九州市立総合体育館で開催された「第2回東アジアふうせんバレーボール大会」の開会式に、武内市長も出席されており、参加選手全員の前で、北九州協会 石橋事務局長より「日本ふうせんバレーボール協会」の林会長へ目録を贈呈しました。

「ふうせんバレーボール」は、1989年北九州市で誕生した『障がいのある、なしに関わらず、子どもから高齢者まで、一緒にプレーできる』6人制のバレーボールです。

1990年以降毎年、北九州市で「全国大会」が開催されており、当会ではその運営費を支援し続けています。

近年は海外からのチームの参加も増えており、昨年度からは「東アジアふうせんバレーボール大会」として開催されています。

